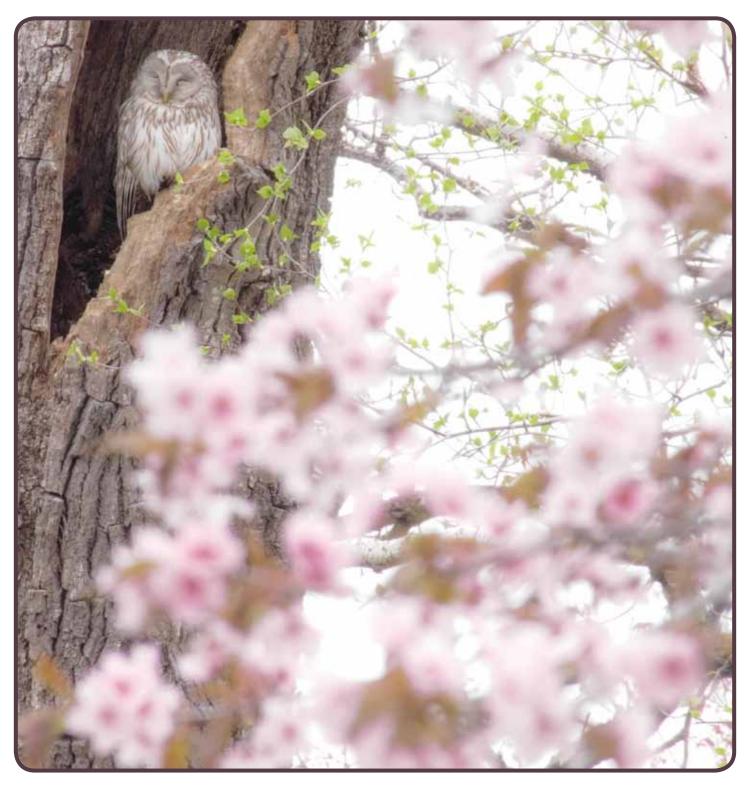
## 人と森をつなぐ情報誌「林野」



2021 No.168





## 五葉山自然観察教育林 (岩手県大船渡市・釜石市・住田町)

## 【概要】

五葉山自然観察教育林は、岩手県沿岸の南東部に位置し、標高 1,351m の五葉山山頂 からは、三陸復興国立公園であるリアス式海岸の雄大な眺めを楽しむことができます。 五葉山は、岩手県立自然公園に指定されており、樹木の種類も豊富で、ダケカンバ・ミ ズナラ・ヒノキアスナロ・ゴヨウマツ・コメツガなどから構成される豊かな森林があり ます。また、田中澄江氏の随筆集「花の百名山」にも名を連ねており、ヤマツツジ・レ ンゲツツジ・ハクサンシャクナゲ・ガンコウラン・コケモモや五葉山の固有種であるゴ ヨウザンヨウラクなどの花々があり、季節に応じて様々な森の表情を楽しむことができ ます。

五葉山の名前の由来は、藩政時代に伊達藩直轄の山であり、ヒノキ・ツガなどの林産 資源が豊富で重要な山であったことから、「御用山」と呼ばれていたことに由来し、そ れが後に、この山で多く見られるゴヨウマツ(五葉松)に因んで「五葉山」と呼ばれる ようになったといわれています。

## 【見どころ】

五葉山の山開きは例年4月頃に行われており、ヤマツツジ・レンゲツツジの花の見ご ろは、5月下旬から6月上旬ぐらいまでで、赤坂峠口周辺、畳石の南側、黒岩の西側のつつ じヶ峯で群生しており、ツツジ観賞会が開催されています。ハクサンシャクナゲの花の見 ごろは7月中旬、しゃくなげ荘付近や日枝神社の西側に見事な群落があります。

※大船渡市観光物産協会HP http://sanriku-ofunato.or.jp/



※イベント等の開催につきましては、大船渡市観光物産協会へお問い合わせください。

## 【アクセス】

登山者の多い赤坂コース(赤坂峠□)へは、釜石自動車道宮守IC から自動車で約1時間。



コメツガ林の様子



ハクサンシャクナゲ



令和元年山開きの様子(山頂付近)



No.168

【表紙の写真】 春うらら(nishi、北海道池田町) 2017年度「わたしの美しの森フォトコンテスト」

受賞作品

## **Contents**

- 03 新たな森林・林業基本計画に向けた検討状況 Part2 ~持続的な森林・林業・木材産業を目指して~
- 03 林業成長産業化地域創出モデル事業② 新見・真庭地域 森林資源の適切な管理と林業成長産業化を目指して
- 10 TOPICS 01 令和3年全国山火事予防運動
- 12 TOPICS 02 木材製品の輸出の促進について ~「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」に基づく輸出の促進~
- TOPICS 03 「木と人とのつながり」をテーマに、第13回「木と合板」写真コンテストを開催します!
- 国有林野事業の取組 森林を楽しむ!× デジタル!
- TOPICS 04 BUZZMAFF秋田取材報告

Part2

前号の特集に引き続き、 ・利用を実現するための林業・

林業基本計画に向けた検討状況についてご紹介します。今号では、 の 持続的な森林の管理 振興に関する主な論点について取り上げます。 林政審議会で議論されている新たな森林 木材産業・山村

## 担い 手となる林業 素経営体の育成

展開 労働安全等に関する施策を進めていく め ことが必要です。 さらには、 長期にわたる持続性を旨とした経営を は それに 目指すべき林業経営の姿を示し していくことが重要です。 林業経営体が収益性を高めつつ 業の持続的な発展を図るために 林業従事者の育成・ 向けた林業経営体の育成 このた 確保、

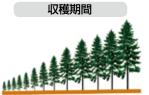
## 全な論点

## 「新しい林業」 に向けた取組の展開

が困難になっています。 生産・ あります (図1)。 識を見直し 経営のためには、 売収益から再造林費用を捻出すること ションにより、 に至る収支のプラス転換を図る必要が に止まっています。このため、 力作業が多く、 林業の現場は、 流通コストが高くなり、 新技術などの林業イノ 生産性・安全性が低位 伐採から再造林、 これまでの林業の常 厳しい環境下での 持続的な林業 その販 丸太の 



- ンソー・高性能林業機械による作業

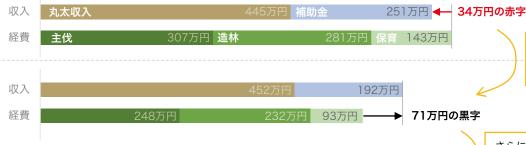


従来品種50年

■生産性向上の取組■造林作業の省力化 などで収支プラス



造林作業



収入 114万円 113万円の黒字 さらに、自動化機械やエ リートツリーなどの新技 術を導入し、<mark>収益向上</mark>

新しい林業

近い将来



機械導入による省力化・軽労化



自動化・遠隔操作機械の導入



早生樹・エリートツリー 30年

図1:目指すべき「新しい林業」(1 ha当たりの収入・経費の試算)

※収入・経費の算出に関する詳細は、林野庁HPに掲載している 林政審議会(令和2年11月16日開催)資料3をご覧ください。



## 2 経営力の強化

があります。 ます。 増加や、 業規模や生産性は徐々に上昇傾向にあ とで収益を上げられるようにする必要 道整備等を行い、生産性向上を図るこ 高コストであることが課題となってい ます 主伐が増加する中、 施業の集約化等による販売量の ②2。 丸太を効率的に運搬できる林 一方で、 林業経営体の事 収益に対して

制の整備を推進する必要があります。 再造林等の諸課題に対応するために いて伐採だけでなく再造林ができる体 は また、持続的な林業経営に不可欠な 造林作業者の育成や、経営体にお

## 従事者の育成・確保、労働安全

3

導入を推進することが必要です。 が得られています 従事者の育成・確保に向けた研修の実 続的な就業を図るためにも、 は 林業への新規就業者の確保について 緑の雇用事業\*により 処遇改善につながる技能評価 (図3)。 さらに、 一定の成果 引き続き 0

軽労化、 が重要です。 による安全体験研修などの導入を図 災害が起きやすい伐採作業の機械化や 生しやすい現場作業を改善するため また、 労働安全対策をさらに進めること 労働安全装備等の装着、 他産業と比べて労働災害が発

ります。

応える製品の生産を推進する必要があ

## 国民の皆様からの主なご意見

- 収穫まで長い年月を要する林業では 極めて重要 林業者にいかに利益を生み出すかが
- 従事者の所得向上に向けて生産性向 育てる林業から、木材を持続的に活 られない 林を伴わない皆伐は社会的理解を得 用する林業へと変化している。再造

います。 者のキャリアアップ研修の実施を支援して 向けた林業経営体が行う研修や、現場技能 緑の雇用事業…新規就業者の確保・育成

ォワーダからトラックへの直積み



丸太の在庫を把握するアプリ

## 製品の安定供給に向けて、製材・合板 ||場の整備が進み、その規模拡大・生

国産材供給量の増加とともに、

木材製品の生産強化

ノベーションとは? 人口減少社会を迎え、人手不足へ対処するため、森林・ ・低コスト化につながる『林業イン ション』に対する期待が高まっています。

## -計測等を活用した情報把握

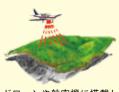
さらに国産材利用を進めるためには、

産性の向上が進みつつあります。

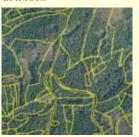
他資材や外材に対する競争力の強化や

大径材の活用、

需要者などのニーズに



- ンや航空機に搭載し たレーザー計測などにより 森林資源を把握



## 林業機械の自動化







荷掛け・搬送・荷下ろし を自動化



重労働である下刈りの 自動化

- 成長の良いエリートツリーの活用(前号参照)
- ICT活用による丸太の生産・在庫管理

## 森林組合の生産性 (㎡/人日)

えるべき。

上・省力化を図る一方、森林整備を

十分実施できる従事者数の確保も考



※林野庁「森林組合統計」

図2:林業経営体の生産性の推移



図3:緑の雇用事業による新規就業 者の獲得





トライアル雇用 短期研修

## 〈主な論点

## 製材・合板工場の大規模化が進み 国産木材製品の競争力の強化

においては、 力が向上しつつあります。 国産材製品の価格競争力・供給能 引き続き高効率化等を図 大規模工場 衰

地域の工務店との連携等を通じて、 業を支える地場の中小規模工場では、 価の高い地域材製品や、 化する必要があります。 品質や性能の明確な国産材の供給を強 JAS・人工乾燥材・集成材等の 細かなニーズ 一方、 地域産

が重要です。 に対応した製品の供給に取り組むこと また、非住宅建築物における木材利

要があります (表2)。 用が進む中、 確 AS製品の供給促進等に取り組む必 なJAS製品の認証の促進など 強度性能や含水率などが

林政審議会委員

品質・コスト面での競争力強化や

民の皆様からの主なご意見

国産材の集成材やJAS製品の供給

地場製材工場等は、

工務店等と連

格付率

13%

12%

100%

95%

91%

して地域材の利用を支えており、

支

拡大に向けた対策が必要。

援が必要。

工場数 工場の規模 (国産原木消費量) H16 10万㎡以上 0 16 5~10万㎡未満 13 24 1~5万㎡未満 194 215 9,213 4,327 1万㎡未満 計 9,420 4,582

※林野庁業務資料、農林水産省「木材統計調査」

表 1:規模別の製材工場数



大規模工場の例

製材·集成材·燃料材など木材を余すところなく活 用できるコンビナート

## 農林水産省「木材統計調査」 表2:国内生産製品のJAS格付率

区

集成材

合板

製材全体

2×4

※農林水産省業務資料

重要です。

-般製材

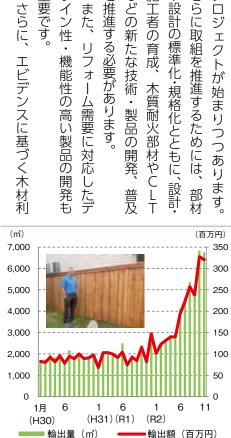
どの開発が進み、 背景に、 を推進する必要があります。 や設計の標準化・規格化とともに、設計 プロジェクトが始まりつつあります。 などの新たな技術・製品の開発: 施工者の育成、 さらに取組を推進するためには、 ・強度の高い部材が求められることを 木質耐火部材や高耐力部材な 木質耐火部材やCLT 民間企業でも木造の 部材

全な論点 都市等の中高層建築物等への 木材利用促進

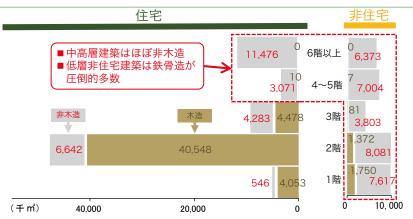
図4階層別・構造別の着工建築物の床面積

進に取り組む必要があります。

都市部の中高層建築物は、 耐火性能



資料:財務省「貿易統計」 図6米国向けフェンス材の輸出



資料:国土交通省「建築着工統計」(平成30年)より林野庁作成 「住宅」とは居住専用建築物、居住専用準住宅、居住産業併用建築物の合計。「非住宅」とはこれら以外をまとめたもの。

2021.3 No.168 林野

## 持続的な森林・林業・ 木材産業を目指して

## 木材利用・輸出の展開

都市等での

ため、 宅建築物等への木材利用(図4・図5 なかった都市等の中高層建築物や非住 え、これまで木材があまり使われてこ における外材から国産材への転換に加 めていくことが必要です。戸建て住宅 国内の木材需要の減少が見込まれる 八口減少による住宅着工戸数減など を進めるほか、 新たな分野での国産材利用を進 木材製品の輸出促

気運 有など建築物等への木材利用に向けた 用の良さや調達方法・ の醸成にも取り組む必要があり

コストの

う情報

## 木材輸出の拡大に当たっては、 木材製品輸出の促進

設の整備、 の丸太輸出から、 す。このため、 製品輸出への転換を図ることが重要で ランディングが必要です(図6(前頁))。 ズに対応した製品等を製造する加工施 製品のマーケティングやブ 輸出先国・地域の一 付加価値の高い木材

## 公共建築物での木材利用

丸太ではなく製品や不燃処理木材等

木材利用への意識を醸成していくた

その意義やメリットなどの情報

することが必要。

る教育など、木造の設計をしやすく

の輸出など、

戦略をもって対応する

ことが必要。

公共建築物の木造率は上昇傾向。準耐火・耐火構造 の事例も。



羽黒高校(山形県) (2017年竣工) 国内初の木造3階建て準耐火校舎、CLTを活用



合同庁舎 1号館南別棟(2017年竣工) (農林水産省保育所) (東京都) 耐火構造による保育施設、CLTを活用

図7 森林資源フル活用のイメージ

## 民間建築物での木材利用

民の皆様からの主なご意見

技術の標準化、

木造建築設計に関す

木材を利用した民間の店舗、事務所ビル、集合住宅 等の事例も続々登場。



マクドナルド五条桂店(京都府)(2019年竣工)



## 多様な木材利用の展開

従 来

建築物以外の分野でも国産材利用の取組事例が見 られるように。



家具等に地域材をふんだんに使用したIT企業のオ フィス(株式会社ドリーム・アーツ 広島本社オフィ ス〈設計・施工(株)ワイス・ワイス〉)



炭素固定効果も期待される丸太を活用した軟弱地

## 図5 進む木材利用の取組



改質リグニンにより自動車部 材を開発

木質系新素材とは?

木質バイオマスから取り出 した木の成分から開発された 素材で、新たな産業資

ています。

材として期待され

## 木質バ イオマスの利用

響が懸念されています。 再生可能エネルギーの普及に貢献して 固定価格買取制度) 持続性や既存の木材利用事業者への影 大により、 います。一方、燃料材需要の急速な拡 材等の燃料材の需要が大きく増加し FIT制度 地域によっては森林資源の (再生可能エネルギー によって、 未利用

ド利用\*を基本とし、エネルギー変換 の推進が必要です。 時の森林資源の保続に関する事前確認 効率的かつ安定的な供給、 効率の高い熱利用の推進や未利用材の は、未利用材活用(図7)やカスケー 木質バイオマスの推進に当たって F-T認定

えて、 の利用促進を図ることも必要です。 質リグニンなどの新たな木質系素材 また、 セルロースナノファイバーや改 FIT買取期間終了後を見据

## 【林政審議会委員

## 国民の皆様からの主なご意見

- 中小規模のバイオマス発電を推進し、 エネルギーの地産地消をすべき。
- 踏まえ適正なものとすべき。 無理な燃料調達計画が需給バランス を崩すおそれがある。資源状況等を

2

地域コミュニティの活性化

住民同士のつながりを保つため

農林地の管理・利用などの住民に

未利用材の安定した需要を創出する 等の木質系新素材の開発・普及に取 ために、セルロースナノファイバー 組むべき。

をきっかけとして、コミュニティを支

おこし協力隊や林業への新規雇用など

よる協働活動が必要です。また、

地域

## 新たな山村価値の創造

域です。 が進み、 村は、 あるなど明るい兆しも見られます。 地方移住に関心を持つ人が増加傾向に ていますが、近年では若年層を中心に、 山村の暮らしや都市部からの新しい 自然豊かで、 我が国の林業を支える重要な地 集落機能の維持に課題を抱え 山村では人口減少・少子高齢化 文化・伝統を継承する山

ティの活性化、関係人口\*の拡大を図 かという視点から、山村の人々の糧と ニーズに森林・林業が何をなし得るの ることが重要です なる地域産業の育成や、地域コミュニ (図8)。

## 山村の地域産業の育成

薪など特用林産物の活用、 重要です。このため、 ス産業\*の創出などを図る必要があり 資源を活かした産業を育成することが した林業・木材産業の推進、 地域内の経済循環を生み出し、 森林資源を活用 森林サービ きのこや 地域



自伐型林業の実施者を育成して、地域の 広葉樹の多様な利用を推進。



伝統技術「漆掻き」の伝承や、漆の需要拡 大に向けた取組を展開。



農地として活用が困難となった土地で の植林で、新たな地域資源の創出。

## 竹粉を土壌改良材などに利用



地域の農業従事者が竹林化で荒れた里山

都市部などの生活習慣の改善が必要な 人を対象に、森林内でのクアオルト健康 キングの実施。



自立性・創造性等を育むとして注目され る森のようちえんに取り組む地域が増

## 林政審議会委員

える存在を確保することも重要です。

- 針葉樹だけでなく、広葉樹やきのこ、 木炭、 漆等の活用による収入確保が
- コミュニティ活性化のためにも、
- 地方への関心が高まっている中 境教育活動を広げるべき。 森林の空間利用を進めていく必要 森のようちえん」等の子どもへの環

村への関心を高めることが重要です。

イフスタイルの提案を通じて、人々の山

には、幼少期からの森林環境教育や自然 わってもらうことが大切です。そのため

(の人々にも山村の地域づくりに関

人口減少の中、住民だけでなく、地域 山村を応援する関係人口の拡大

中でのワーケーションなど新たなラ

- カスケード利用…木材を建築等の資材として利用した後、 最終段階で燃料として利用することです。 ボードや紙等としての再利用を経
- ・関係人口…定住者でも、 人々のことを指します。 時的に訪れた観光客でもない、 地域や地域の人々と多様に関わる
- \*森林サービス産業…森林空間を健康、 産業です。 観光、 教育等の多様な分野で活用する新たなサービス

## 国民の皆様からの主なご意見

- 地
- 域の森林管理を促進すべき。

真庭地域

適切な管理

真庭市



新見市

## 新見・真庭地域の現況

新見・真庭地域は、岡山県北部中国山地の脊梁地新見・真庭地域は、岡山県北部中国山地の脊梁地帯に位置し、街道が交差する要所として古くから経帯に位置し、街道が交差する要所として古くから経帯に位置し、街道が交差する要所として古くから経帯に位置し、街道が交差する要所として古くから経帯に位置し、街道が交差する要所として古くから経帯に位置し、街道が交差する要所として古くから経帯に位置し、街道が交差する要所として古くから経帯に位置し、街道が交差する要所として古くから経帯に位置し、街道が表

価を得ています。 内で加工された製材品は、広く全国に流通し高い評生産されることで知られており、本地域を中心に県生産においては、きめの細かい良質な木材が

準が著しく低下している状況であります。本地域は、森林所有規模は小規模・零細で、森林所有者の高齢化や林業の採算性悪化から、経営意欲の体の増加や不存在者が所有する森林や相続登記がないなれない森林の増加等の施業が遅れ、放置される人工体がある。本地域は、森林所有規模は小規模・零細で、森林所本地域は、森林所有規模は小規模・零細で、森林所本が著しく低下している状況であります。



## 林業成長産業化構想

用を促進し適正な管理に繋げる必要があります。より森林の再生や活性化を図ることで森林の循環利を促進する。さらに、皆伐再造林や天然林の更新伐に在する森林を面的に管理できるよう転換し、森林整備こうした状況の中、今後、森林経営を行う上では、点

成長産業化地域構想を設定しました。を図るため、豊富な森林資源の循環利用による林業おして、森林所有者の所得向上や地域経済の活性化民有林・国有林の連携による効率的な森林整備をと民をで、平成30年に新見・真庭地域の広域連携、

## 3 林

## 林業成長産業化に向けた主な取組

組を行っています。 7つの重点目標を定め、様々な課題の解決に向け取当地域では、「林業成長産業化地域構想」に基づき、

ついてご紹介します。そのので今回は、これまで行ってきた主な取組に

施業経費の管理、収益計算等の効率化が図られまし

調査、集積計画、

そのことにより、森林経営管理制度に基づく意向

配分計画等を作成する際の基盤や

## (1) 新見・真庭地区森林管理協議会の設立

平成30年度に新見・真庭地域森林管理協議会設立準

にできるようになりました。

森林所有者に対し、森林の集約化や施業提案が容易た。また、タブレット端末と連動させることにより、

総会を実施しています。 3月28日に新見・真庭地区森林管理協議会設立区森林管理協議会設立

題の解決に向け取組み、森林組合、林業事業体製材・加工、木材需要、製材・加工、木材需要、製材・加工、木材需要、

基調講演

していくこととしています。化・適正管理による施業面積の拡大に繋がる活動をたな森林管理システムの進捗を見ながら森林の集約協議会では、近隣の先進地視察を行い、今後の新林業の成長産業化を目指すこととしています。

## 森林・木材情報の一元管理を実現(2) ICTを活用し、森林GISや森林クラウドにより、

させることで情報の一元化を図ることとしました。、次写真や毎木調査といったデータをシステムで共有動させ、必要な情報の取り出しや現地調査による状動させ、必要な情報の取り出しや現地調査による状態させ、必要な情報の取り出み、持続可能な森林の循環に必要ステム」に取り組み、持続可能な森林の循環に必要ステム」に取り組み、持続可能な森林の循環に必要ステム」に取り組み、持続可能な森林の循環に必要ステム」に取り組み、持続可能な森林の循環に必要ステム」に取り組み、持続可能な森林の循環に必要ステムに、新たな森林管理シ

## 3 広域木材流通システムの構築

年に木質資源安定供給協議会が設立されました。 るバイオマス燃料を安定的に供給するため、 真庭市に平成27年発電所ができるときに燃料とな 平成25

明書を発行する手続が必要でした。 番高く設定されているため未利用材であるという証 由来の木質バイオマスいわゆる未利用材の価格が一 木質バイオマス発電電力の買取価格は、 間伐材等

オマス発電所で受け入れを行いません。 うことで無断伐採・違法伐採の防止にもつながって る化に取り組んでいます。 残材搬出可能量など森林資源量の把握やものの見え をシステムで管理することで素材生産可能量、 情報を登録した情報カードを発行し、 に必要な そこで安定協は、 システムに登録されていない燃料は真庭バイ 「誰の所有で、 「真庭システム」を開発 誰が、 また、 どの場所から等」 システム管理を行 すべての 流通 林地 証 の 明

非常に順調で、 平成27年以降真庭バイオマス発電所の (発電所) まですべてにおいてメリットがあ その理由は川上 (森林所有者) 燃料供 から 給

> が からだと考えられます。

> > 真庭システムと同じシステムを新見市で構築する

利用

今まで発電所が一つであったが二つになる

更に広域的な流通管理のシステムにすることといた 業量が確保でき収益アップとなっています。 電に利用でき経費の削減、 木市場は今まで処理に困っていた端材やバ 安定した事業量が確保でき収益アップ、 ができるということでシステムに新見市を入れて そこで今回、 新見市に新しく木質バイオマス発電 製材所、

通常、 供給を管理・ 新見の発電所が増加することで2つの発電所へ 1つの 発電所に供給するフロー となります

目指し、

しました。

所

森林所有者は今までお金にならなかった未利用材 チップ工場も安定した事 素材業者は、 ークも発 原 がこのシステムで可能となりました。 することでかなりの経費の削減につながりました。 よりも今ある真庭システムをカスタマイズし、 ことで互いに課題となる安定供給体制の強化と証



## おわりに

発生する燃焼灰の再利活用など持続可能な森林経営を 確保や人工林だけでなく広葉樹の利用拡大、発電所 が機能する地域となるよう取組を進めていきます。 今後も林業成長産業化地域構想に基づき、担い手の 「植える」「育てる」「伐る」「使う」の林業サイク

お金になることにより所得が向上、

証明できるシステムとなります。

の が、

新見・真庭地域広域連携モデル事業概略図 森林貴語の通信な管理と林葉成長産業化を目指して~ 森林里提斯語会 所 有 者 森林経営管理立 TH 門な利用による所情の向上的な前性を確か、未利用材の 森林育成事業者 祭コスト再議林 育てる 新見·真庭地区 森林管理協議会 市 未 生 産 者 ・多品種でコンデナ 医の生産ができる体 被事事 菜屋 技療 では、大大川川道ニステム 職業の低コスト化 Are where the 質パイオマス発電所 共施設・退泊施設

事業概略図

真庭市

高級ICT

森林県民ゲ

**GIS** 

林業事業体

NUMBER STATE

マス発電所

①現地状況の調査及び入力 ・土地・立木・路網状況などの入力 ・写真撮影

②森林管理情報 (地図/属性) 閲覧 ※閲覧データは一部に限定・編集なし

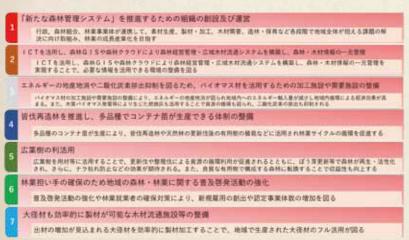
樹種/樹高などから木材販売代金を 算出し、事業費・補助金などと 合わせて、施業収支を計算

集約化・森林施業提案

森林所有者

現在位置取得

③収支計算資料の作成



## 7つの重点目標

TOPICS

## 令和3年全国山火事予防運動

林野庁では、3月1日から7日まで「あなたです 森を火事から 守るのは」を統一標語として、 「全国山火事予防運動」を実施し、全国で山火事予防意識の高揚を図る運動や、 森林パトロール等の実施を呼びかけます。

林野火災の被害状況(写真提供:山口県)

山火事は、

例年三月~五月に多く発生しています。

令和二年においても、

三〜五月に多数の林野火災が発生し



「全国山火事予防運動」の今年のポスターには、熊本県熊本市立出水南 中学校2年の松隈辰実さんの作品が、標語には、徳島県立那賀高等学 校1年の秋田岳さんの作品が選ばれました。



山火事予防パレード(写真提供:中部森林管理局)

山に入る人も増えることから、 拡大する危険性が非常に高くなります。 すい状態になっています。さらに強風等の条件が重なると、 事となりました。 ており、 い年月をかけて育てた貴重な森林を一瞬にして失うことにな る火災発生にも注意が必要です。 たき火などから火が燃え移って山火事が発生し、焼損面積が この時期は、空気が乾燥し、 山火事は一旦発生すると、消火は容易ではなく、 北海道標茶町や兵庫県姫路市では大きな山火 たばこの火の不始末などによ 森林内の枯草や落葉が燃えや また、 山菜採り等で また、

人ひとりが火の用心を心がけ、 日本の素晴らしい森林を

守り、後世に引き継いでいきましょう。

## [近年の林野火災の発生状況]

区分/年次	H27	H28	H29	H30	R元年	平均
出火件数(件)	1,106	1,027	1,284	1,363	1,391	1,234
焼損面積 (ha)	538	384	938	606	837	661
損害額 (百万円)	255	157	900	202	269	357

資料:消防庁統計資料に基づいて作成

出火件数と焼損面積を1日あたりに換算すると、全国で毎日約3 件発生し、約2ha は焼失していることになります。



林野火災発生 (写真提供:岩手県)



地上消火活動(写真提供:山梨県)

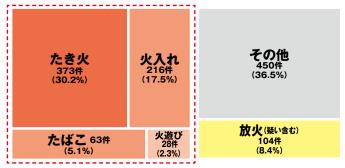


空中消火活動 (写真提供:兵庫県)

## 月別の林野火災発生件数(H27 ~ R 元年の平均) (件) 300 250 200 150 100 98 50 33 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 資料:消防庁統計資料に基づいて作成

例年、林野火災の半数以上は3~5月に発生しています。

## 出火原因別発生件数(H27~ R 元年の平均)



火の取扱いの不注意が半数以上

資料:消防庁統計資料に基づいて作成

「たき火」が一番、林野火災に繋がる恐れがあります。

## 林野庁からのお願い

- ①枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと
- ②たき火など火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること
- ③強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと
- ④火入れをする際は、市町村長の許可を必ず受けること
- ⑤たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと
- ⑥火遊びはしないこと



山火事防止の シンボルマーク 「まといリス 」



森林保険は、森林所有者を被保険者として、森林についての上記8つの災害による損害を 総合的に補償する保険です。山火事防止と併せて、リスクへの備えとしてご検討下さい。

◆森林保険のお問合せ◆ お近くの森林組合、森林組合連合会、または森林保険センターへ (国研) 森林研究・整備機構森林保険センター(代表) 044-382-3500



## 木材製品の輸出の促進について

## ~「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略 |に基づく輸出の促進~

農林水産物・食品の政府の輸出額目標は、2025年に2兆円、2030年までに5兆円であり、このうち、林産物 については、2025年までに718億円、2030年までに1.660億円を目指すこととしています。

この目標を達成するため、昨年12月の農林水産業・地域の活力創造本部において、「農林水産物・食品の輸出 拡大実行戦略」を決定しました。

同戦略では、マーケットインの発想に基づき、①日本の強みを最大限に活かす品目別の具体的目標を設定する こと、②輸出にチャレンジする農林水産事業者を後押しすること、③省庁の垣根を超え政府一体として輸出の障 害を克服することを基本的な考えとし、政府一体となって輸出促進施策を実施することとしています(図1)。

木材については、製材・合板を重点品目とし、中国、米国、韓国、台湾等をターゲットに、日本式木造建築物の普 及による建築部材の輸出促進、高耐久木材の海外販路の拡大やマーケティングや輸出に取り組む事業者等を中 心とする輸出産地の育成、国際競争力強化のための加工・流通施設の整備等に取り組むこととしています。

## 農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略(概要)

~マーケットイン輸出への転換のために~

## 戦略の趣旨

2025年2兆円・2030年5兆円目標の達成には、 海外市場で求められるスペック(量・価格・品質・ 規格)の産品を専門的・継続的に生産・販売する (=「マーケットイン」) 体制整備が不可欠



マーケットインで輸出に取り組む体制を整備 するため、

- ・速やかに実行するもの
- ・令和3年夏までに方向を決定し、実行するもの を実行戦略として取りまとめ

## 3つの基本的な考え方と具体的施策

- 1. 日本の強みを最大限に活かす品目 別の具体的目標を設定
- ①輸出重点品目(27品目)と輸出目 標の設定
- ②重点品目に係るターゲット国・地 域、輸出目標、手段の明確化
- ③品目団体の組織化と海外における 国の支援体制の整備

- 2. マーケットインの発想で輸出にチャレン ジする農林水産事業者を後押し
- ①リスクを取って輸出に取り組む事 業者へのリスクマネーの供給を後 押し
- ②専門的・継続的に輸出に取り組む 「輸出産地」を具体化、輸出産地 形成を重点的に支援
- ③大口ット・高品質・効率的な輸出 物流の構築のため、港湾等の利活 用 、輸出物流拠点の整備

- 3. 省庁の垣根を超え政府一体とし て輸出の障害を克服
- ①輸出本部の下、政府一体となっ た規制の緩和・撤廃の取組
- ②輸出先国の規制やニーズに対応 したHACCP施設等の整備目標 の設定、目標達成に向けた認定 迅速化
- ③日本の強みを守るための知的財 産の流出防止対策の強化

## 4. 国の組織体制の強化

農林水産省に「輸出・国際局」(仮称)を設置し、政府全体の司令塔組織である農林水産物・食品輸出本部の運用 等を通じて、同局を中心として、輸出関連施策を政府一体となって実施する。

▲図1 農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略の概要

具体的には、付加価値の高い木材製品を生産する木材加工施設を中心に、原料を供給する川上から販売を担 う川下までの企業等が連携する輸出産地等を育成することとし、これらの育成・展開を図るため、輸出に取り 組む輸出産地等をリスト化し、2月に公表しました(表1)。

また、安定的に原料を供給するための生産基盤の強化、合法性確認の一般化、生産・輸送にかかるコスト削減 に取り組むほか、国際競争力の高い生産体制を実現するため、輸出先国・地域の規格や高品質な木材製品を生 産する加工施設等の整備を行うとともに、原料となる原木の安定供給及び生産コストを削減するための路網 の整備・機能強化や高性能林業機械等の整備を推進することとしています。

品目	品目の詳細	輸出産地			実施主体(輸出事業計画の策定者)			
		輸出産地名	産地のエリア・所在地		事業者名	所在地		
			都道府県	市町村	学来有有 	都道府県	市町村	
製材	外構材等		大分県	県内全域	日田木材協同組合	大分県	日田市	
製材	外構材	群馬	群馬県	県内全域	群馬県、群馬県産2×4材 販路拡大グループ	群馬県	前橋市ほか	
製材	外構材	高知	高知県徳島県	高知県全域 徳島県(三好 市、那賀町)	高知米国市場開拓協議会	高知県	仁淀川町	
製材	構造材、内装材、 外構材、家具等	宮崎	宮崎県	県内全域	宮崎県木材協同組合連合会	宮崎県	宮崎市	

## ▲表1 製材の輸出産地リスト(令和3(2021)年2月16日時点)







高耐久木材を使用したデッキ



スギを使用した住宅用フェンス材

加えて、JETRO等関係団体とも連携し、輸出先国・地域のニーズの絞り込みや日本産木材製品のブランディ ング、マーケティング等を進めることとしています。

林野庁としては、同戦略に基づく取組を着実に進めることで、輸出目標の達成を目指していきます。

今回ご紹介した取組については、農林水産省のウェブサイトで公表しています。

詳しくは、以下のリンクをご覧ください。

## 政府の取組について

http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e action/index.html

## 輸出産地リストについて

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e\_action/yusyutsu-list.html



http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e\_action/attach/pdf/index-5.pdf





O3

## 「木と人とのつながり」をテーマに、 第13回「木と合板」写真コンテストを開催します!

木材・合板博物館では、第13回「木と合板写真コンテスト」を開催いたします。募集期間は2021年7月1日(木)~8月31日(火)、募集テーマは「木と人とのつながり」です。特別審査員にプロ巨樹カメラマン吉田繁氏を迎え、林野庁長官賞(大賞)には5万円の商品券が贈られます。日本国内在住者なら誰でも応募可能です(ただしプロは不可)。

木は製材や合板など様々な製品となって、私たちの生活を支える住宅や家具・おもちゃなどに使われています。木材利用を推進することは、日本の林業活性化にもつながり、地球温暖化に歯止めをかけることにもつながります。昨年は新型コロナウイルスのパンデミックが起こり、今年は東日本大震災からちょうど10年の節目の年です。歴史的にも住宅や地域の復興・再生には欠かせない木材。そして、木の温もりは五感を使って感じることで私たちの心を癒してくれます。これまで以上に身近にある「木」や「合板」などと人との関わりに目を向けていただければと思います。応募方法はEメール(photocon@woodmuseum.jp)にて、お一人様2点まで応募可能です。

詳しくは、HP (https://www.woodmuseum.jp/photo-con/)をご覧ください。皆様のご応募お待ちしております。

## 第12回 受賞作品

## 林野庁長官賞(大賞)



「青紅葉に染まる」村上正幸 撮影場所:兵庫県神崎郡福崎町

お寺の庭、そして室内の柱や天井が鏡面の座卓に映り込んで、親子が青紅葉に染まっています。

## (審査員講評)

審査の会場で、「ポーン」と目に飛び込んできた写真がこの作品。それほど、存在感がある。窓の外の庭のことを考えると、欧米の、仮にだがフランス式の庭園は左右対称のシンメトリーで幾何学的な構成で作られている。

一方、日本の庭園は、そのような論理的に作られたものとは少し違い、歩くうちに景色が変わるだけでなく、季節の移り変わりに合わせて変化する彩を楽しむ。この写真は、緑の色でほとんどが占められるが、いつかはこの緑も別の色に変わることが容易に想像できる。そして、この家族も、そして、木質の室内も年月を経ると変わっていくだろう。そうした、一枚の写真に、時に移り変わりも込められている、日本的な美学が込められている傑作だとおもう。

## (受賞者コメント)

人はみな、木と緑にいつも優しく見守られて生きていることをリフレクション(反射・鏡)で表現してみました。赤ちゃんが木々と同様に、すくすくと元気よく育ってくれることを願います。

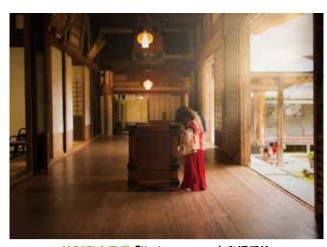
## 受賞作品(抜粋)



優秀賞「芸術の図書館」増井典子



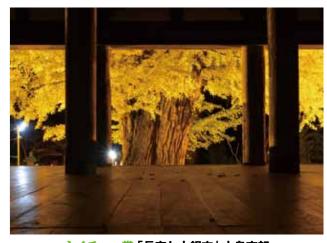
建材賞「CLT PARK HARUMI」下鳥亨



特別審查員賞 [little prayer] 髙橋秀治



木質素材賞「想い出」門林泰志郎



ネイチャー賞「長床と大銀杏」大島市郎



ライフ賞「ぬくもりの場所」山内佳子

## <お問い合わせ>

公益財団法人PHOENIX 木材·合板博物館 事務局

〒136-8405 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー 4階

TEL: 03-3521-6600 E-mail: photocon@woodmuseum.jp HP: https://www.woodmuseum.jp ※当館はただ今当面の間、休館をしております。オンライン館内見学をお試しください。



## 組

# 森林を楽しむ!× デジタル!

を選ばずに国有林の魅力を体験して で、その一部をご紹介します。 いただける取組を行っておりますの デジタル技術を活用し、時と場所

## **You Tubeで紹介** の魅力が凝縮された映像を 「日本美しの森 お薦め国有林

め国有林」に選定し、その普及に努め ているところです。 が優れた93箇所を「日本美しの森 お薦 定しています。その中でも特に景観等 の中に「レクリエーションの森」を設 んでいただけるよう、全国の国有林野 林野庁では、皆様に広く森林に親し

頂けます。また、他の箇所でも撮影を 省の公式 YouTube チャンネルでご覧 ます。なお、これらの映像は農林水産 な風景などを撮影しましたので紹介し 行い、順次、公開する予定です。 「日本美しの森 お薦め国有林」の雄大 この一環で、ドローンを使いながら

(仁別国民の森)



②栂池湿原風致探勝林

所在地:長野県小谷村

樹木園が整備されていて、 市民の憩いの場として散策路や

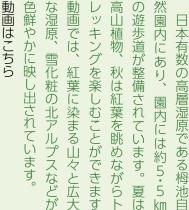
魅力を伝えています。 戸川百花さんが、天然秋田杉美林の を知ることができます。動画では、 2020ミス日本みどりの女神・井 林浴を楽しんだり、林内にある仁別 大美林の一つ天然秋田杉美林で森 森林博物館では、森林・林業の歴史 日本三

https://www.youtube.com/ gate
watch?v=L3xfcEsgvnQ watch?v=L3xfcEsgvnQ

watch?v=gY0dAcWr5i8

https://www.youtube.com/

動画はこちら



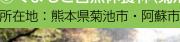
様々な瀬と渕と滝が織りなす渓谷美

清流菊池川の源流を擁し、

休養林です。晩秋の菊池渓谷を舞台 が特徴の菊池渓谷を中心とした自然

清流と木々の紅葉が織りなす渓

自然休養林(菊池水源地区)





【お問合せ先】

https://www.youtube.com/

動画はこちら

谷美はまさに神秘的です。

watch?v=E57D7lSGgzl

国有林野総合利用推進室 TEL:03-6744-2323 林野庁 国有林野部 経営企画課

デジタル森林紀行 森林が織りなす美しい風景を

しい森林や自然を楽しんでいただける 岐阜県及び愛知県)をはじめ全国の美

主に青空が美しい風景です。

に開設しました。

当サイトは、①風景の色をテーマに

紀行(愛称:デジ森)」をホームページ

令和2年8月に、「デジタル森林

マホで気軽に管内 中部森林管理局では、パソコンやス (富山県、長野県 楽しみませんかく



## 中部の森林色々

~風景の色をテーマにした写真館~

今後も、随時増やしていくこととして 275点を(2月末)紹介しており、 局・署等の職員が撮影したものを現在 また、掲載している写真は、森林管理 います。 ことができるようにしたサイトです。 「白」、「ALL」に写真を分類すること 風景の色をテーマに「青」、「緑」、「黄」、 直感的に〝今見たい風景〟を探す

トで構成しており、今回は、 した「中部の森林色々」、②「林野庁及 ③中部局広報主任官のお勧めサイ (北海道、 九州)」へのリンクー 東北、 1 関東、 一中部 か。 くさんありますので、お気軽にサイト この他にも美しい風景がまだまだた

四国、

フレッシュしてみてはいかがでしょう にアクセスしていただき、心身共にリ

主に緑が美しい風景です。 -マ「緑」 緋の滝(岐阜署管内)

主に紅葉が美しい風景です。 黒部平駅展望台(富山署管内)

乗鞍岳権現池(中信署管内)



色にこだわらない美しい風景です。 現在は、山頂からの御来光や滝を掲載しています。 「朝焼けの白馬三山」(中信署管内)



主に雪景色が美しい風景です。 「白」 「冬のブナ林」(北信署管内)

デジ森QRコード 【お問合せ先】

中部森林管理局 総務企画部

総務課 広報

TEL:050-3160-6513



## BUZZMAFF秋田取材報告

日本三大美林の一つである天然秋田杉\*は、年輪幅が揃い、木目が細かく強度に優れ、狂いが少ないこと から、古くから高級内装材、天井板などの住宅用建築材として利用されてきました。

現在、国有林では天然秋田杉の供給は行っていませんが、秋田県では、地元のスギを使っていこうとい う民間の新しい取組や、国有林における天然秋田杉に代わる高品質なスギ人工林の施業が進められてい ます。

林野庁公式Youtubeチャンネルでは、秋田スギでの木桶の製造を目指す老舗の酒蔵「新遊酒造」と、樹齢 100年を超える高齢級人工林における秋田スギの計画的な供給を目指す国有林の取組を取材しました。 今回は、動画でお伝えしきれなかった部分を交え、ご紹介していきます。

※天然秋田杉:青森県から鹿児島屋久島まで広く分布している天然杉のうち、秋田県の北部を流れる米代川流域に分布する杉。本記事では天然秋 田杉と区別して、人工林から生産される秋田県産のスギを秋田スギと表記する。

## 昔ながらの製法で地域に根差した酒造りを

## 新政酒造株式会社 代表取締役 佐藤 祐輔



撮影 船橋陽馬(根子写真館)

新政酒造では、約90年前にこの蔵 で発見された[6号酵母]を使って、 すべてのお酒を造っています。この 酵母は、現在酒造りに使われている 日本最古の酵母ですが、調べていく と、酵母が発見された当初、木桶を 使った古い製法で酒造りをしていた ことがわかりました。酵母の生まれ た時の環境に近い酒造りをしたほう が酵母の特性を引き出せるのではな



田園の広がる鵜養地区の風景

いか?と思い、木桶に興味を持ったのが始まりです。

しかし、日本における木桶生産業は、木桶職人の高齢化・減少により非常に厳しい状況にあります。そこで、自ら木 桶を製造するため、社員を対象に木桶職人の育成にも取り組み始めました。将来的には、地元の秋田スギを使い、自 社で木桶を製造したいと思っています。

自社圃場のある鵜養地区では、自社での酒米生産のほか、地元の農家と契約して酒米を生産し、小さな山村に雇用 を創出しています。また、無農薬、無肥料の昔ながらのやり方にこだわっています。将来的には、外から農薬や肥料を 持ち込まず、地域の木と水と米を使った酒造りをすることが目標です。

## 秋田スギを使った木桶づくりを目指して

## 新政酒造株式会社 木桶職人 相馬 佳暁



木桶職人になる前は、設計の仕事をしていました。現在は醸造工程を勉強し ながら、秋田スギを使った蔵の足場や麹室の設計などをしています。自社で木桶 造りに取り組んでいる中で、前職から一番木材に理解のある者として木桶に関 わっています。

木桶は、鋸と鉋と木槌の3つの道具だけで作ることができますが、木桶の

側の部分を作るのに必要な板 はだいたい40枚ほどで、これは

4mの丸太から多くて8枚程度しかとることができません。木桶に使う スギの樹齢は120年くらいがベストですので、そのような高齢級のス ギが何本も必要になってきます。

今、蔵で使用している木桶も、樹齢120年ほどの吉野杉からできていま す。寒冷地の秋田スギは吉野杉と比べ目が詰まっているため、もしかした ら樹齢100年ほどのものでも木桶に使えるかもしれません。秋田スギを 使った木桶は戦前以来となるので、ぜひ挑戦したいと思っています。



現在使われている木桶と木桶蔵 撮影 堀 清英

## 天然秋田杉に代わる高齢級スギ人工林の施業について

## 秋田森林管理署長 尾前 幸太郎



秋田森林管理署管内は、秋田スギの一大産地となっています。管内のスギ人工林面積のう ち、36年生から55年生の森林が約60%を占めており、その一部で今は供給をしていない天 然秋田杉の代替材として、高齢級・高品質なスギ人工林の施業を進めています。

BUZZMAFFの中で紹介させていただいたスギ人工林は、明治39年に植栽されたもので、

樹齢115年生になります。材質的にも幹が引 き締まり目の詰まったものとなっており、天 然秋田杉にも引けを取らない高品質な材に

なっています。このような高品質なスギは、構造の内部に使われる建築 材というよりも、人の手に触れ、目にしていただけるようなところへの 利用を進めたいと思っています。

あと30年ほどで伐採の時期を迎えますが、高齢級・高品質の秋田ス ギを需要に応じて安定的に供給できるよう、小規模伐採などの方法を 検討しているところです。



高齢級秋田スギ人工林

BUZZMAFF林野庁公式Youtubeチャンネルでは、今回の取組に加え、秋田スギを構 内の内装に使用しているJR秋田駅の様子を動画でご紹介しています。

秋田スギをふんだんに使用した新政酒造の酒蔵の内部や、樹齢115年の人工林秋田ス ギと天然秋田杉の迫力のある映像、そして今回インタビューに応じていた だいた方々の秋田スギに寄せる熱い思いをぜひ動画でもご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=aU0U0NwBGcw

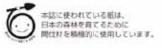






山火事は3~5月に多く発生しています。皆様、お一人おひとりの心がけが山火事を防止します。





「林野」は林野庁 HP でもご覧になれます。詳しくは

情報誌 林野



